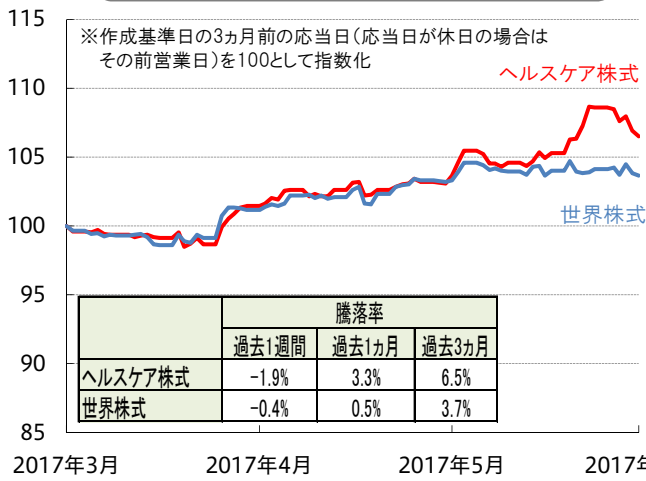


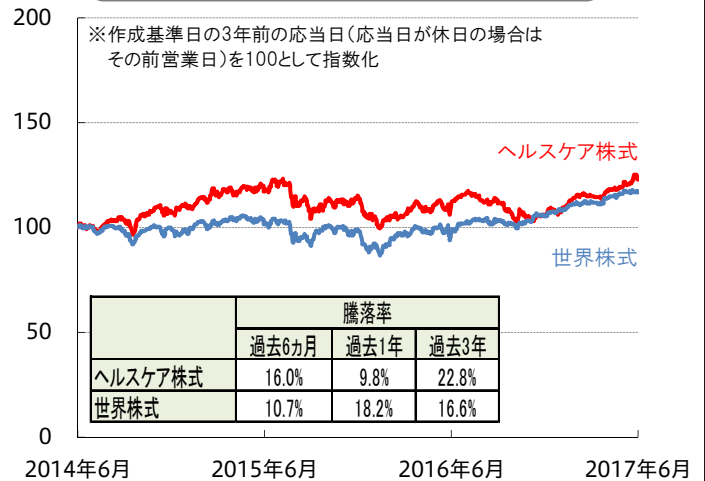
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
ハリアント・ファーマシューティカals Intl	7.7%
ユニバーサル・ヘルス・サービス*	5.8%
第一三共	4.2%
Envision Healthcare Corp	3.3%
HOYA	2.6%

(出所)Bloomberg

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

	ワールド	ヘルスケア	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益
1株当たり利益成長率(年率、%) 実績→3期先予想	19.1	19.1	171.7	46.3	19.7	13.2	11.6	14.3	20.3	21.5	12.7
今期予想PER(倍)	17.3	17.5	23.5	16.0	17.9	17.3	20.8	13.5	19.2	14.5	16.4
3期先予想PER(倍)	14.3	14.6	15.0	14.2	14.9	14.1	17.6	11.3	15.4	12.6	15.1

*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

■マーケットコメント

- 先週(2017/6/26~2017/6/30)は、世界株式、ヘルスケア株式は共に下落しました。
- 世界株式は、医療保険制度改革(オバマケア)代替法案の採決が延期されたことや、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長の「一部の資産価格は幾分高くなった」との発言などから下落しました。セクター別では、株主還元策が好感されたことなどから金融セクターが上昇した一方、情報技術や公益事業などが下落しました。
- ヘルスケア株式は、ヘルスケアテクノロジーや医薬品などが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック

「ジェネリック医薬品の数量シェア上昇」

日本ジェネリック製薬協会(GE薬協)は29日、GE医薬品におけるジェネリック医薬品の数量シェア分析結果を発表しました。2016年4月~2017年3月の数量シェアは65.5%となり、前年度の59.5%から上昇しました。6月9日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」では、2020年9月までにジェネリック医薬品シェアを80%にすることを目標としており、患者負担の軽減や医療保険財政の健全化のために、ジェネリック医薬品の使用促進への取り組みが行われています。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」ヘルスケア株式：MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、世界株式：MSCI ワールド・インデックスはいずれも税引き後配当込み、トータルリターン(米ドルベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。

「ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。

「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て)及びMSCI ワールド・業種別・インデックス(米ドル建て)の1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍)：株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想：作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。

※3期先予想PER(倍)：現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

●MSCI ワールド・インデックス及びその業種別・インデックス(出所：MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

上記はあくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。